



9月3日、かもめ幼稚園で園児らが流しそうめんを楽しみました。

園児らはテラス前に設置された特製のそうめん台の両側に並び、流れてくるそうめんを待ちかまえました。箸を上手に使うてすくい上げ、「おいしい！」と大喜びし、パインやみかんなどのフルーツもいただきました。

園児らみんなのおいしい笑顔と歓声が園庭に響きました。

楽しい♪流しそうめん



神島診療所の小泉圭吾医師がやぶ医者大賞を受賞し、中村市長へ報告しました。やぶ医者大賞とは「やぶ医者」の語源が養父にいた名医であったことにちなみ、地域医療に貢献している若手医師を顕彰するために兵庫県養父市が実施しているものです。

小泉医師は「やってきたことが認められてうれしい。これからもへき地医療のために努力していきたい」と受賞を喜びました。また、養父市で行われた授賞式にも参加した中村市長は「会場に駆け付けた島民のかたがたもうれしそうで地元からの信頼を感じた。後進のためにも頑張ってもらいたい」と激励しました。

神島の小泉医師がやぶ医者大賞受賞！



9月11日～18日、鳥羽商船高等専門学校と協定を結ぶシンガポールマリタイムアカデミー（SMA）の学生らが鳥羽を訪れました。9月13日の小型船舶乗船実習では、三ツ島やマリインターミナル、ミキモト真珠島などの鳥羽の景色を海側から楽しみ、両校の学生らは交流を深めました。

滞在中の印象的なことについてSMAのショーンさんは「練習船・鳥羽丸での航海は得るものが多く、エンジンがどのように動いているか間近で見ることができた」とSMAにはない練習船での貴重な体験について話してくれました。



シンガポールの学生らが鳥羽へ



9月3日に漁業者、観光団体および、行政、捜査機関による密漁監視パトロールが行われました。

これらは漁業権や入漁権を有しない一般のかたが岸壁でイセエビを釣って採捕する案件が発生していることなどから、イセエビ漁の解禁前に漁業権侵害と密漁行為防止を図るものです。

鳥羽市密漁対策協議会の永富洋一会長は「関係機関で協力連携しながらこれからも活動の啓発と密漁の防止に努めていきたい」と語りました。

密漁監視パトロールを行いました